

ハッカソン概要

日時： 2022年12月3日(土)~4日(日) ※ハッカソンに先立ち、ハンズオン講習会を 2022年11月12日(土)~13日(日)に実施。
 会場： 徳島大学 常三島キャンパス
 主催： Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会
 徳島大学 デザイン型AI教育研究センター
 協賛： 四国情報通信懇談会、ケーブルテレビ徳島株式会社
 協力： 徳島県、徳島大学、鳴門教育大学、公益財団法人徳島経済研究所、特定非営利NPO法人チルドリン徳島、
 神山メイカースペース、スタンシステム株式会社、KDDI株式会社、CHIRIMEN Open Hardware、
 CoderDojo Tokushima、Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会
 後援： 総務省 四国総合通信局、徳島県IoT推進ラボ、Beyond 5G 新経営戦略センター
 概要： センサーやモーターなどをWeb標準技術(JS)から制御する方法等、講習会で学習した知識や技能を活かして
 「サステナブルな徳島」をテーマにしたハッカソンを行い、チーム毎に作品の出来栄を競った。
 参加者： 小中学生5名、高校生2名、社会人2名、計9名(2チームがハッカソン参加)



教材環境
 CHIRIMEN
 Raspberry Pii
 Zero W

最優秀賞：お遍路SNS (チーム名：おへんろ)

お遍路SNSは、様々な人にお遍路さんを知ってもらいたいというのを題にして作られた作品。様々なIoT技術(温度センサー)を用いて、お遍路に来た人に、番所ごとの魅力を伝えるページURLをLINE Notifyで送信する。ボタンを押すと、自動で写真をとってもらえて、写真付きでLINE Notifyに送信することもできる。



1番札所 霊山寺

2022年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 徳島 開催報告

目的	主に初学者を対象として、標準技術やOSS利活用についての理解を深めながら、シングルボードコンピュータ等を使ったハンズオン形式の講習会やハッカソンでの開発体験を通し、実践的なスキルアップの機会提供を行い Society 5.0 時代に特に必要とされるエンジニア人財の育成を目指す。	
使用教材環境	CHIRIMEN for Raspberry Pi Zero (Node.js*1から Web GPIO API*2 と Web I2C API*2 を扱う方式によるIoTプログラミング学習・実験環境。Raspberry Pi Zero に接続した電子部品をブラウザアクセスしたPCからプログラミングする) *1 JavaScript言語でWebサーバを構築するための開発環境 *2 汎用インターフェースであるGPIO/I2C経由でブラウザからセンサ・アクチュエータを直接制御するためのAPI	
ハッカソンテーマ	「サステナブルな徳島」	
運営委員会	主査	谷岡 広樹 氏(徳島大学 情報センター/デザイン型AI教育研究センター 講師)
	参画自治体	徳島県
	参画教育機関	徳島大学、鳴門教育大学
	事務局	Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会(徳島大学内)
	ハンズオン講習会	ハッカソン
日程	2022年11月12日(土) - 13日(日)	2022年12月3日(土) - 4日(日)
会場	徳島大学常三島キャンパス	徳島大学常三島キャンパス
参加者数	12 名	9 名 2チーム
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 座学講習(標準技術とOSS利活用の意義) Raspberry Pi Zero 版 CHIRIMEN を使ったハンズオン講習 ハッカソンに向けてのアイデアワークショップ 	
講師/審査員	講師	座学講習(標準技術とOSS利活用の意義) 講師:高木 悟 氏(KDDI株式会社/WIMC PLUS 中央実行委員会主査)、瀧田 佐登子氏(一般社団法人WebDINO Japan 代表理事 / WIMC PLUS 中央実行委員会 副査) ハンズオン 講師:篠田 有崇 氏(一般社団法人 WebDINO Japan)
	審査員	<ul style="list-style-type: none"> 高木 悟 氏(KDDI株式会社 技術戦略部) 石田 基広 氏(徳島大学 デザイン型AI教育研究センター / 社会産業理工学研究部 教授) 木野内 敦 氏(徳島県 地方創生局 デジタルとくしま推進課 課長)
表彰	最優秀賞: 作品名「お遍路SNS」(チーム名:おへんろ) メンバーは、小中学生4名、高校生1名、社会人1名のチーム。	
その他(地域の特色など)	<ul style="list-style-type: none"> 徳島大学デザイン型AI教育研究センターが主体となって開催、自治体や地元企業にも協力を仰ぎ、開催のための人的リソースを確保する。 スポンサーとしてケーブルテレビ徳島と四国情報通信懇談会にもご協力いただいた。 講座とコンテンツは中央実行委員会にご提供いただき、参加者の技術サポートは、地元エンジニアや過去に参加した学生が主に対応。 	